千葉県議会議員　無所属

2019年1月
県議会報告

入江あき子

いのちと暮らし、守り抜く
まじめに、まっすぐ

働き盛り・責任世代53才

プロフィール

1965年　仙台市生まれ
1988年　国際基督教大学（ICU）教養学部社会科学科卒業
　　セイコーインスツル株式会社勤務
2003～2011年　佐倉市議会議員
2011年4月千葉県議会議員2期目
・健康福祉常任委員会委員
・国土利用計画地方審議会議員
・会派「市民ネット・社民・無所属」代表
・自治体議員立憲ネットワーク所属
・千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
・千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
・八ッ場ダムを考える1都5県議会議員の会事務局長
家族　夫、息子二人（26才・23才）

新年のごあいさつ

新しい年がスタートしました。皆様にとって良いお年となりますよう祈念申しあげます。

今年４月の県議選では、佐倉市と酒々井町が同じ選挙区となります。私も心機一転「無所属」となり、３期目をめざして全力で取り組んでまいります。引き続き、地元の佐倉市・酒々井町の皆様の声、現場や当事者の声をしっかりと県政に届け、「県民のいのちと暮らしを守る」千葉県をめざします！

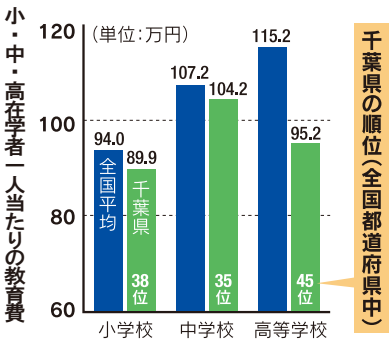
12月議会トピックス

県立高校へのエアコン設置
補正予算 13億8400万円

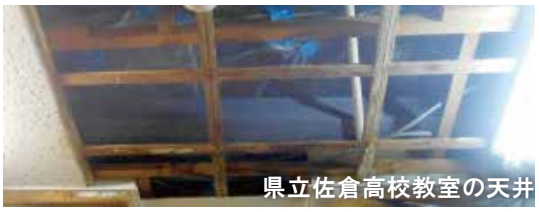
ようやく実現！

これまでエアコン未設置だった県立高校19校・320教室に、夏までに整備する見通し。すでに保護者負担でエアコン設置済みの89校については、保護者負担をなくし県負担とするための新年度予算（約8億円）が計上される予定です。

一方、県費による職員室等へのエアコン設置は今年度実施校を含めても35校。独自で職員室に設置した学校を合わせても、まだ64校で未設置。早急な対応を求めていきます。



調査・行動・発言で問題解決！


県立佐倉高校教室の天井

老朽化が進む県立学校の現場を定期的に訪ね、議会で継続的に発言。その結果、施設改修の予算を11億円に拡充することができました。今後とも全国最低レベルの教育予算の引き上げに取り組みます！

まずは現場へ！ 当事者の声を政策につなげます

12/13 神奈川県立田奈高校「ぴっかりカフェ」見学

11/20 県立佐原病院 在宅医療の現状を学ぶ

11/3 佐久総合病院 地域医療を学ぶ

10/17 産廃最終処分場増設 抗議デモ

12/21 議会最終日 水道法改正案に反対する意見書案の趣旨説明をしました

水道事業の民営化は、問題だらけ「命の水」を地方から守ろう！

12/6 臨時国会で水道法改正案が十分な審議も行われず、与党の数の力で強行採決されてしまいました。政府は法改正の目的を水道事業の「経営基盤強化」とし、①民営化を促進する「コンセッション方式」の導入②市町村を超えた広域連携を推進するとしています。

しかし、すでに民営化した欧米では、水質悪化や料金高騰が起こり「再公営化」しています。その数は 2000 年からの 15 年間で、なんと 37 か国 235 箇所。日本は世界の潮流に逆行し、『周回遅れのトップランナー』とも言われています。

一方、すでに香川県では法改正の前から、県主導による広域化が地元議会での十分な議論もないまま進められています。自己水源の放棄と引き換えにダムの水が押しつけられる状況とのこと。「いのちの水の自治」が奪われかねません。

私たちの生存権に直結する水道事業を民間や国任せにはできないと訴えましたが、自民・公明党の反対により、意見書案は否決されました。

佐倉市神門地区の再生土埋立て　産廃撤去！

2017 年 9月、県の調査で埋立地（46,370 ㎥）から鉛とフッ素の基準値を超える産廃が埋められていることが判明。その後、事業者による土壌検査で、1100㎥の産廃が見つかりました。2018 年 8月までに最終処分場に搬出される予定でしたが、ようやく10 月末から地元住民の立会いのもと撤去作業が行われ、12月5 日に埋戻しが完了。

その後開かれた住民説明会で「安全確認のため埋立地内の 6 箇所を事業者に検査してほしい」との再要望があり、事業者が**年明け早々にボーリング調査を実施する**見通しとのこと。今後の分析結果を注視していきます。

2018/11/2 撤去作業完了の確認状況

2018/11/6 撤去作業の状況

2018/11/28 撤去作業の状況

健康福祉常任委員会　入江あき子の主な質疑から

国民健康保険税の負担軽減を！

国保税は、組合健保や協会けんぽと比べて負担が重く、構造的問題を抱えています。千葉県では約 96万の加入世帯のうち 5 割弱が軽減措置を受けているものの、14 万世帯が滞納しています。1 年以上滞納した場合は資格証明書（窓口全額負担）が交付され、その数は県内で 1万140 世帯（今年 6/1 現在）とのこと。

昨年度から県が国保の財政運営を担っていますが、問題解決に向けてさらなる国費投入を訴え続けるよう求めました。

放課後等デイサービスのチェック体制は？

2017 年度から障がいのある子どもたちが放課後過ごす居場所の人員配置基準が厳しくなりました。しかし、船橋の事業所で虚偽の人員配置や不正請求が行われ、営業停止となっています。このような不正は、通常の県の実地指導（4 年に一度）では発見できません。子どもの安全を担保するため、抜き打ちの立入検査や指導をさらに強化するよう求めました。

県立高校で放課後カフェ??

神奈川県田奈高校で行われている「ぴっかりカフェ」を見学。ＮＰＯが地域のボランティアを募り、放課後の居場所づくりを運営しています。教育現場への福祉的アプローチにより、貧困や不登校・いじめなど生きづらさを抱え困難な状況にある子どもたちの支援につなげています。

このような福祉と教育の連携事業を千葉県でも実現してほしいと提言したところ、「他県の先進的な事例の一つとして、県教育委員会など関係部局と連携しながら研究をしたい」との前向きな姿勢が示されました。今後の展開に期待します。

千葉県議会議員 入江あき子の県議会報告

住所　〒285-0846
佐倉市上志津 1722-2
電話　043-312-8760
FAX　043-312-8761
URL　http://irieakiko.jp/
mail　groundwater.sakura@gmail.com

入江あき子サイト